

第2章

市民アンケートの実施

Question

Q.1	直接飲用度	14
Q.2	不満・心配な点	15
Q.3	水道利用希望度	16
Q.4	水道事業への希望・要望	17
Q.5	水道事業の社会的役割	18

市民アンケートの実施

1 市民アンケート実施にあたって

『ひかりかがやく水のまち ～光市水道光合成プラン～』では、水道事業の将来ビジョンを地域住民のみなさまと構築していくという観点から、平成19年12月に「光市水道市民アンケート」を実施しました。

本アンケートの結果から得られた、地域住民のみなさまの水道に対する意見・要望をもとに、光市水道事業の考えと併せて、『ひかりかがやく水のまち ～光市水道光合成プラン～』で掲げる取り組みを決定しました。

2 回収状況

◆回収率

配布数	有効配布数	回収数	回収率 (%)
2,010	1,999	967	48.4

◆生活用水利用別回答者数

上水道	簡易水道	その他（井戸など）	計
769	86	112	967

◆上水道利用者お住まいの内訳

浅江地区	島田・上島田 三井・周防地区	光井地区	室積地区	計
272	195	127	175	769

◆簡易水道利用者お住まいの内訳

上ヶ原地区	岩屋・ 伊保木地区	牛島地区	大和地区	計
4	9	8	65	86

◆その他（井戸など）お住まいの内訳

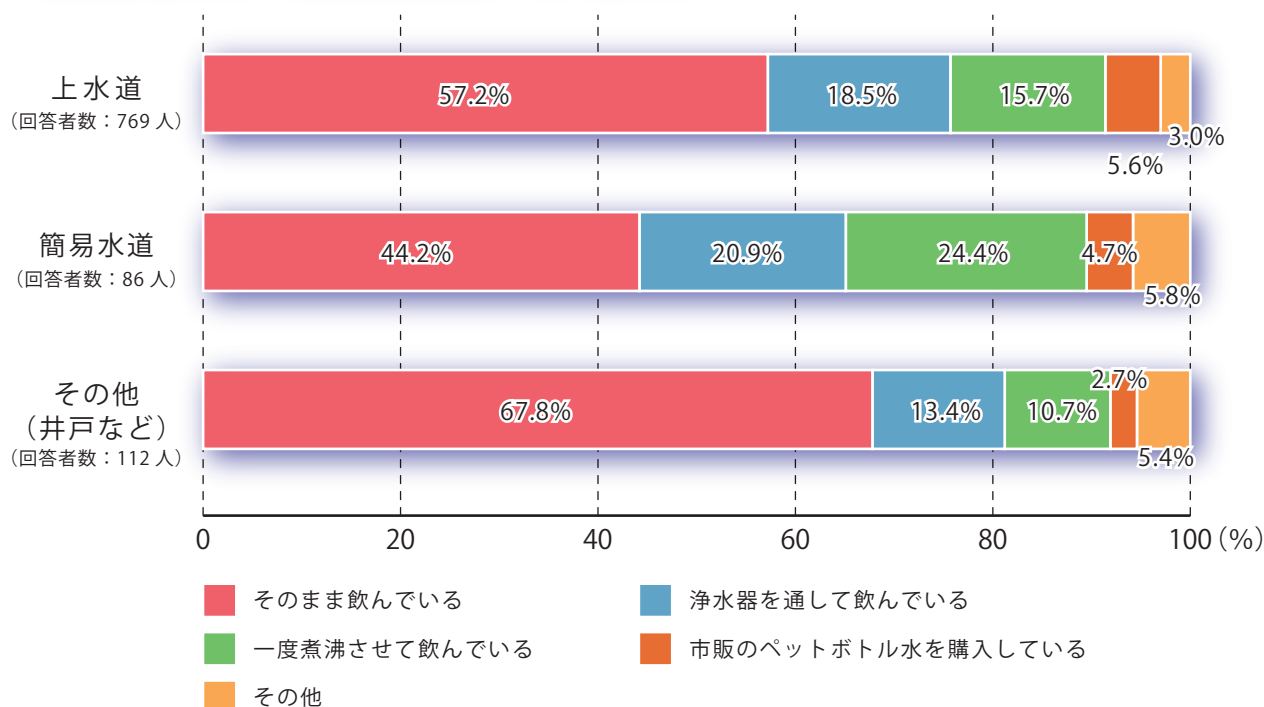
浅江地区	島田・上島田 三井・周防地区	光井地区	大和地区	計
3	45	8	56	112

◆簡易水道

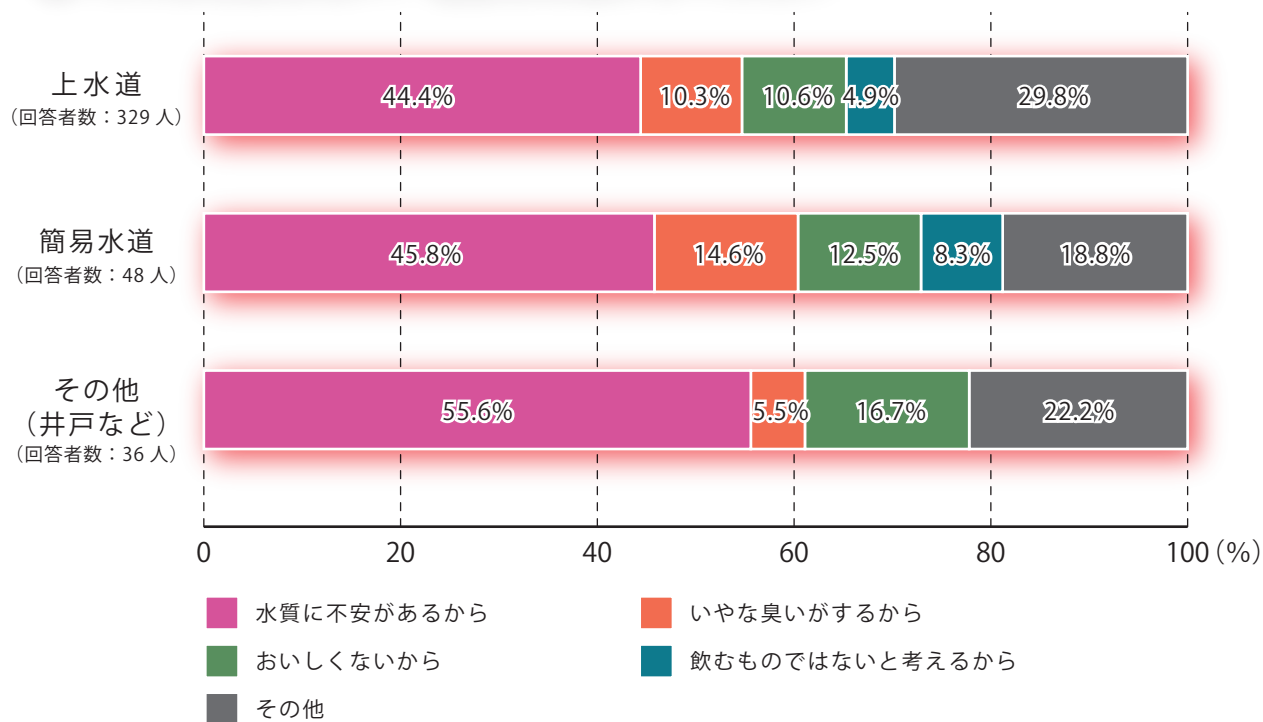
給水人口が5,000人以下の水道で、現在光市では、岩屋・伊保木地区、牛島地区、大和地区が該当する。それぞれの水源は、【岩屋・伊保木…西・東伊保木深井戸】、【牛島…牛島深井戸】、【大和…田布施川表流水】。

Q.1 直接飲用度

◆ 飲み水として何を利用されていますか？



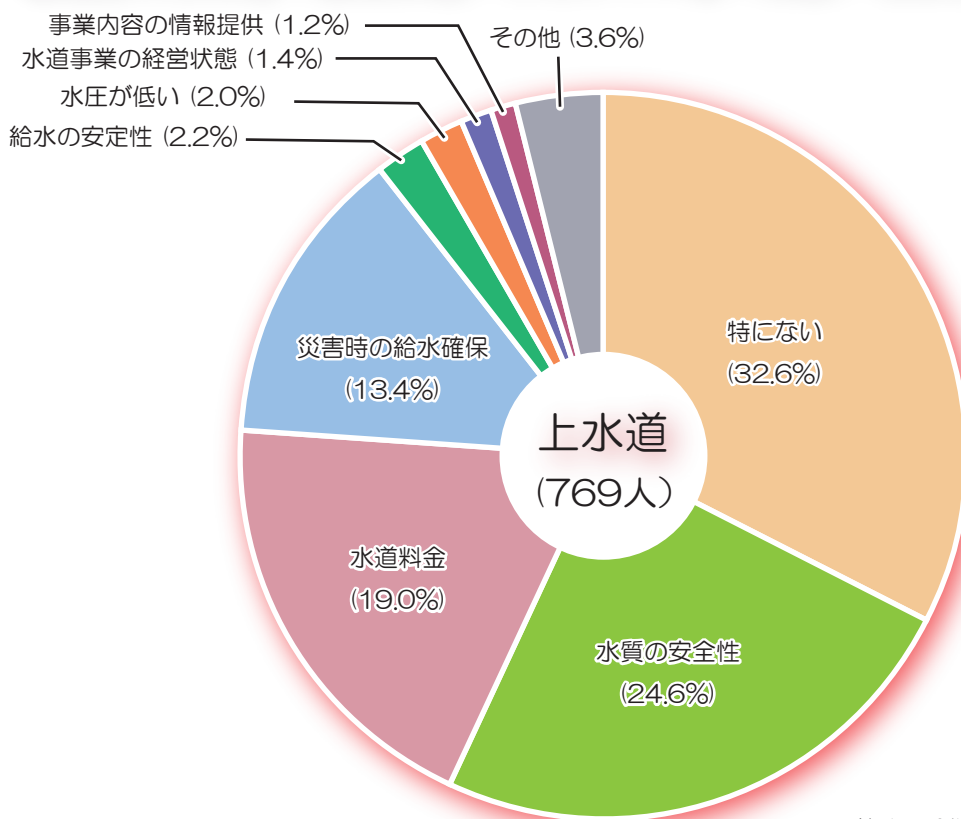
◆ (そのまま飲まない) 理由をお聞かせください



水道水は50項目もの水質基準をクリアして、各家庭へと供給されていますが、水道を利用している人のうちの約半数は水質に不安を感じ、蛇口の水をそのまま飲用水として使っていないという結果が得られました。

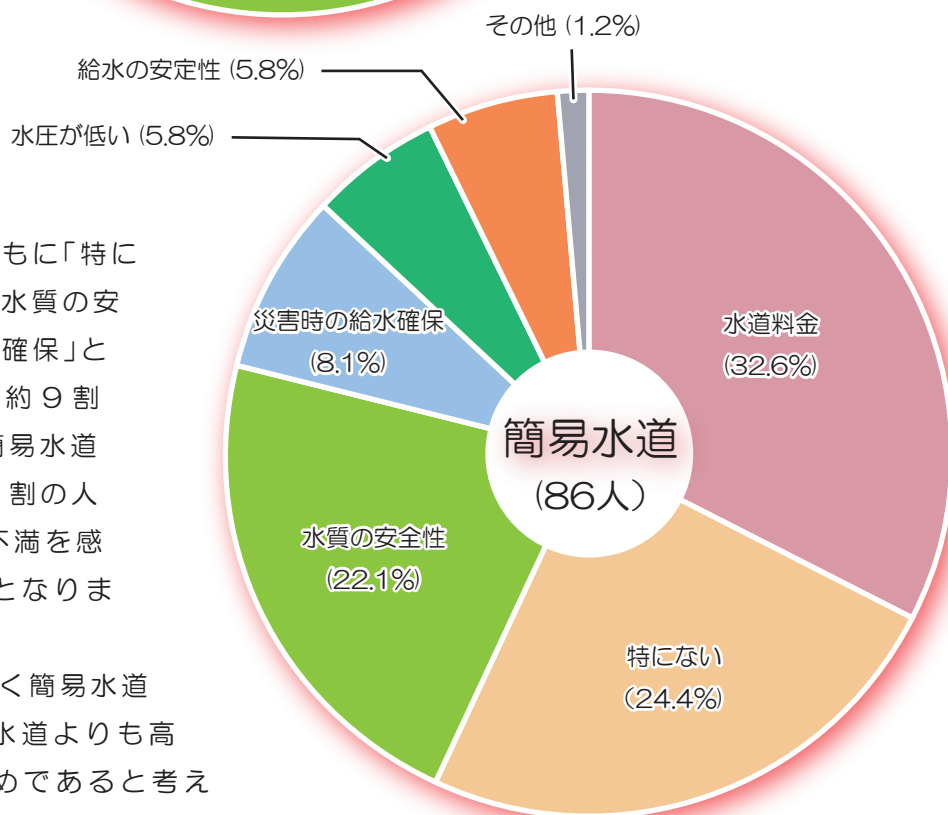
Q.2 不満・心配な点

◆現在の下水道（簡易水道）に対して不満（心配）な点をお聞かせ下さい



下水道、簡易水道ともに「特にない」、「水道料金」、「水質の安全性」、「災害時の給水確保」という4項目が、全体の約9割を占めていますが、簡易水道では、そのうちの約3割の人が水道料金に対して不満を感じているという結果となりました。

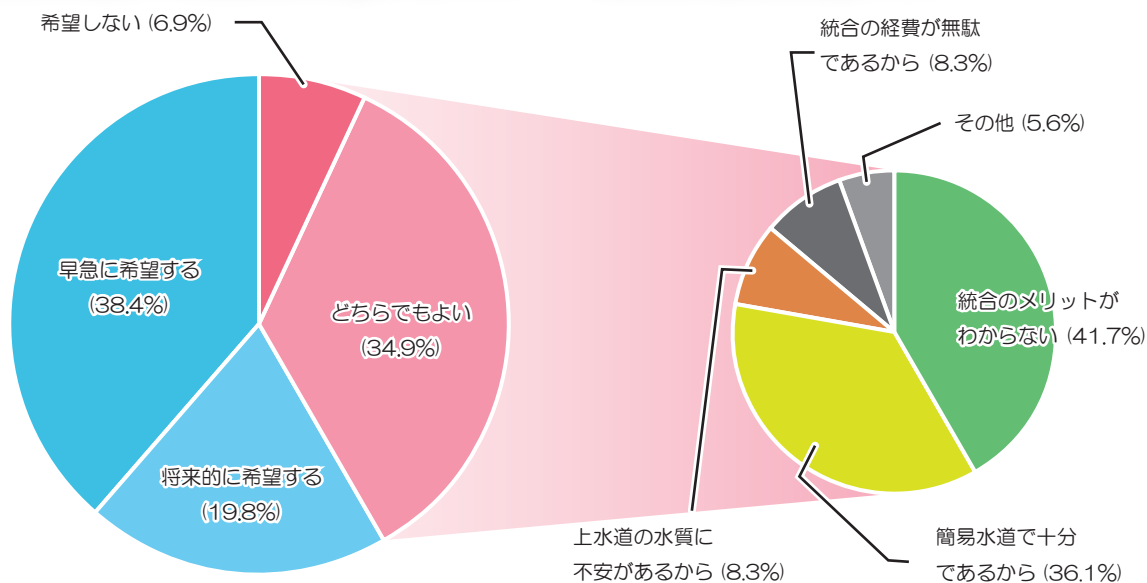
これは、上ヶ原を除く簡易水道の水道料金体系が下水道よりも高く設定されているためであると考えられますが、牛島簡易水道を除く、3簡易水道は平成21年度までに下水道に統合され料金体系も統一されるため、この不満は大きく解消されるものと考えられます。



※上ヶ原簡易水道は平成20年4月1日に下水道統合されました。

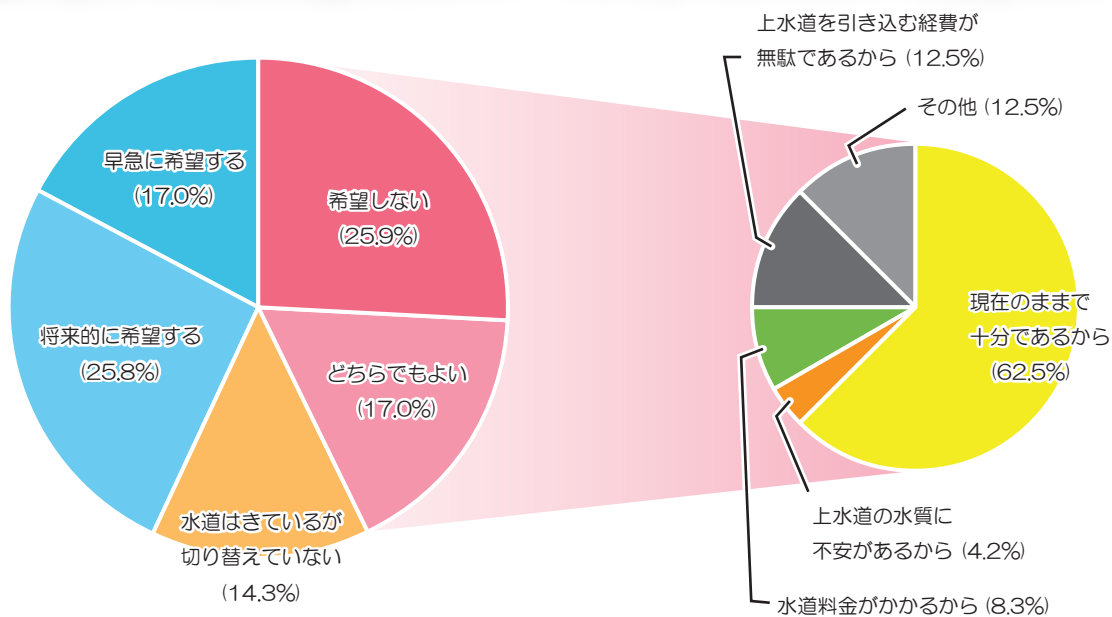
Q.3 水道利用希望度

◆上水道との統合を希望しますか？（簡易水道利用者のみ）



全体の 6 割近いお客さまが上水道への統合を希望しており、どちらでもよいというお客さまを加えると、全体の 9 割以上を占める結果となりました。どちらでもよいと回答したお客さまのうち、その理由を統合のメリットがわからない、簡易水道のままで十分であると回答したお客さまが 8 割近くいるため、統合により水道料金が安くなるなどのメリットを P R していけば、統合希望度は大幅に上昇すると考えられます。

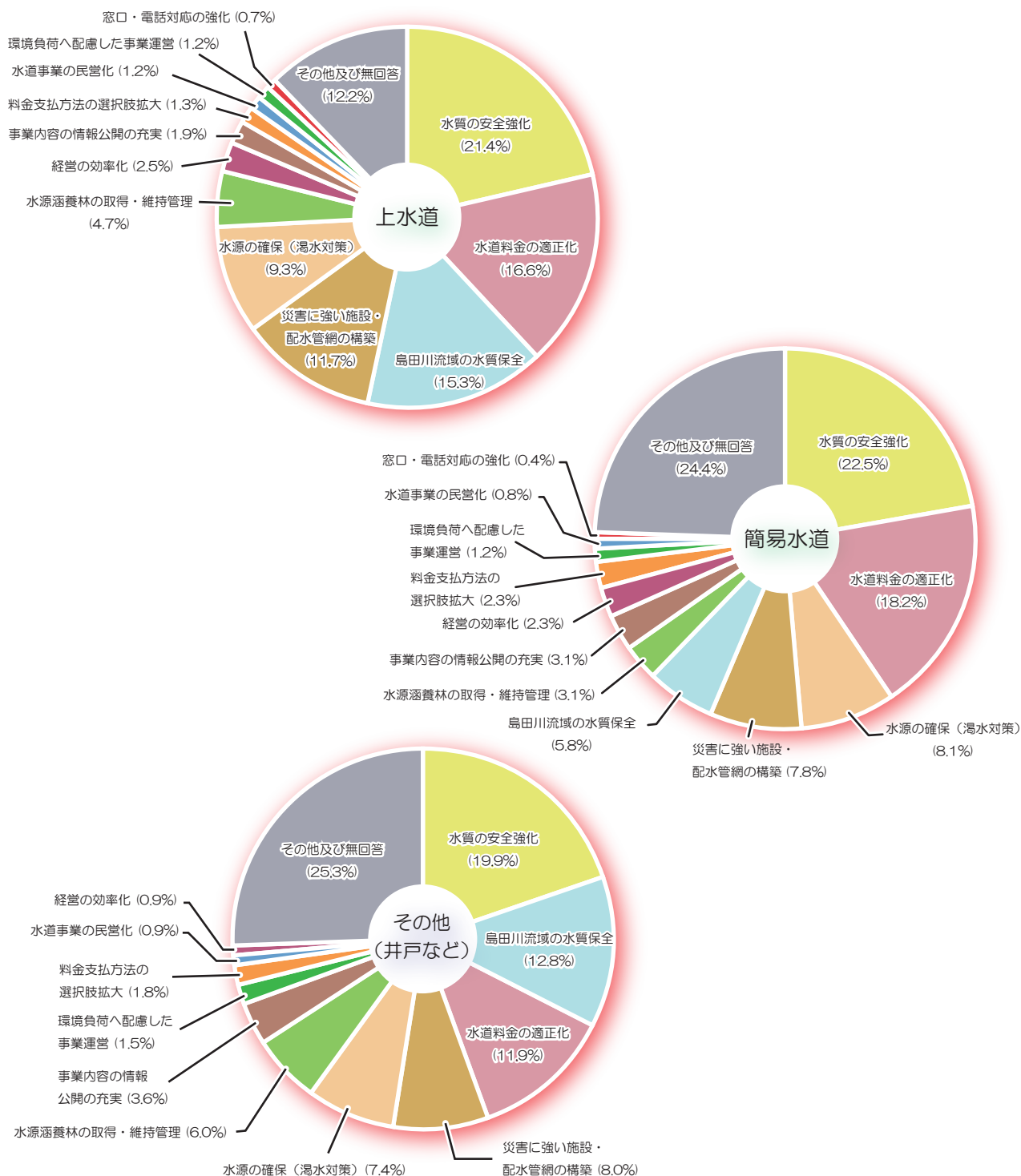
◆水道水の利用を希望しますか？（その他（井戸など）利用者のみ）



簡易水道に比べて、上水道への統合を希望するお客さまは少なく、現状で満足されているお客さまが多いという結果が得られました。

Q.4 水道事業への希望・要望

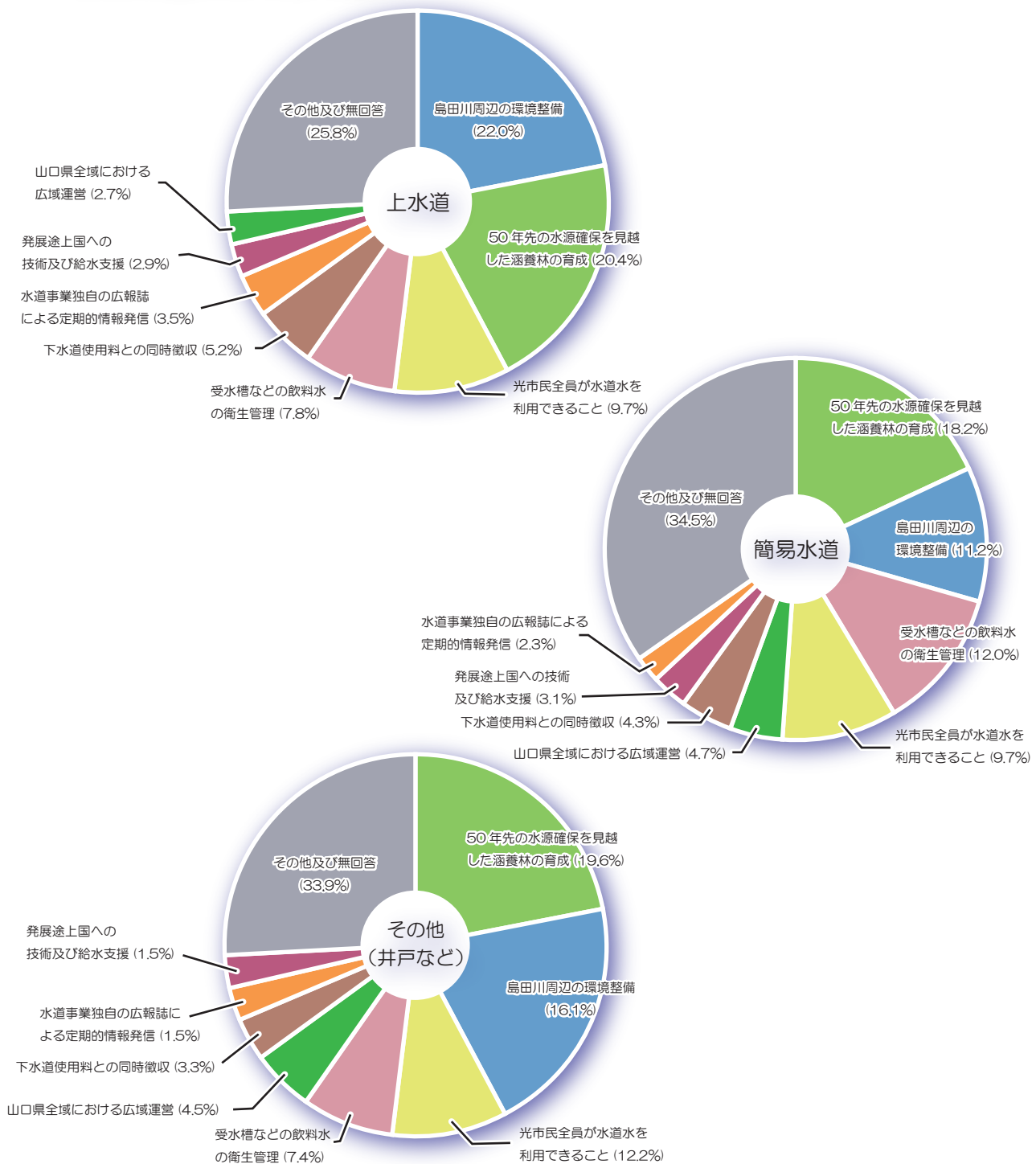
◆これからの水道事業に何を望みますか？（ひとり最大3つまで選択）



上水道、簡易水道、その他（井戸など）、3つ全てに共通して、「水道料金の適正化」「災害に強い施設・配水管網の構築」「水源の確保（湧水対策）」「水質の安全強化」「島田川流域の水質保全」が上位5項目に挙げられるという結果になりました。この結果から、水道事業に対するニーズは、施設面、水質面、サービス面へと多種・多様化していることがうかがえます。

Q.5 水道事業の社会的役割

◆水道事業の果たすべき社会的役割は何があると思いますか？
(ひとり最大3つまで選択)



上水道、簡易水道、その他(井戸など)、3つ全てに共通して、「島田川周辺の環境整備」「50年先の水源確保を見越した涵養林の育成」が上位2項目までに挙げられており、環境に関心を持っているお客さまが多いという結果が得られました。また、「受水槽などの飲料水の衛生管理」も上位4項目までに挙げられていることから、水道の安全性や安定性に関心を持っているお客さまが多いという結果も得られました。



清山配水タンクから望む光市
(上) 室積方面、(右) 浅江方面



▲平成 21 年から通水予定の
大和送水ポンプ所



▲周南都市水道水質検査センター
(旧新南陽市水道局)